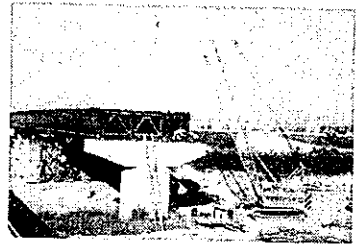


一 道路橋梁

2 橋 梁

出合橋 長く渡し船に頼っていたが、明治四四年（一九一）になって、長さ二三五呎（七五間）、幅四・二呎（一四尺）の木鉄混合の永久橋が架設せられた。建設費は一万三〇〇円であった。当時は森松橋につぐ立派なものとして、子供達の遠足の好適地にもなっていた。ついで昭和一三年（一九三八）ゲルバー式コンクリート橋となった。最近交通量の激増と車の大型化のため、交通困難となったが、今回の重信川の流路拡幅計画に合わせて、新たに鉋桁方式による新橋梁の架設工事を行い、昭和五四年三月二〇日供用を開始した（旧出合橋は昭和五四年一二月とり



第27図 架橋中の新出合橋

第83表 町内の主な橋梁

橋 梁 名	路 線 名	長 さ	幅員	種 別	加 橋 年
出合大橋	国道 56 号	227.0 ^m	10.0 ^m	鉋 桁	昭和47年
出合橋	県道松山松前伊予線	210.0	9.8	"	54年
夫婦橋	県道松前松山港線	24.0	5.5	コンクリート	27年
古城橋	全	31.7	6.0	"	32年
河口大橋	全	262.6	6.0	"	31年
中川原橋	県道松山伊予線	91.0	4.5	"	6年
長尾谷橋	県道松山松前伊予線	16.2	7.5	"	35年

第84表 その他の町内の橋梁

別当橋	倉 本 橋	上高柳恵久美第二橋	原田前橋	安養寺橋
外側橋	横 田 橋	老 松 橋	手 作 橋	中 洲 橋
前の川橋	鶴 吉 北 橋	義 農 橋	七反地橋	津志原橋
大唐橋	鶴 吉 東 西 橋	仲 良 橋	北の川橋	長 田 橋
前堤橋	神 取 橋	下 岸 田 橋	大井手橋	樋の本橋
大正橋	鶴 吉 千 足 橋	大 福 橋	有 明 橋	木の下橋
汐美橋	上高柳恵久美第一橋	上 又 橋	向 井 橋	大 橋

除く予定)。

甥橋(夫婦橋) 旧松前町の中心部にあることもあって、古来、人々によく知られていた。次に若干の記録を転記しておく。

明治三十一年九月十日県費ヲ以テ大字浜新立本村間ニアル甥橋ノ永久的大改修ヲナス、工事ハ関係者タル我地元村ニ於テ引受本日着手シ翌三十二年一月竣工ス、此請負金高貳千八百七拾七円余ナリ、本工事ハ行通頻繁ナル県道ニ当ルト海水浸入ノ恐レアル箇所ナル為メ甚ダ難工事ナリシヲ以テ現場ヨリト数間東ニ假道路ヲ設ケテ人馬ヲ通シ且ツ海水ノ浸入ヲ防ギ工事ヲ施工シタリ、〔松前町沿革史稿〕

大字浜ヲ貫通スル国道ニ架設シアル甥橋ト大字筒井ヨリ北河原ニ通ズル里道ノ中間ヲ流ル国近川ニ架シアル千石橋ト共ニ石造ニシテ、前者ハ県費ヲ以テ築造シ後者ハ民費ヲ以テ架設セシモノナリ、〔郷土誌松前村〕

とあるから、石造りであったことがわかる。

昭和一八年(一九四三)七月の大洪水で流失したので、木橋を架設、次いで昭和二七年(一九五二)三月現在のコンクリートの永久橋となった。なお、これには排水のための扉門が付設せられてあり、昭和五〇年(一九七五)新夫婦扉門が設置せられるまで使用されていた。旧扉門の開閉は、自然開閉及び手動であった。



第28図 夫婦橋